

さとえ学園小学校に確実に合格する

名門小学・中学受験 ウェルストリーム

<http://www.wellstream.co.jp>

人気急上昇！

さとえ学園小学校は今年も人気急上昇中です。平成 20 年度の学校説明会出席人数は前年同時期比 120 %以上とのことです。開校当初から若い教師達が情熱ある指導を展開していましたが、御三家中学受験で定評ある大手進学塾からベテラン算数科専門講師を教頭先生として迎え、算数科を中心にますます充実させてきました。そして、平成 19 年 4 月、進学校として名高い国立学園小学校の校長であった神林先生をさとえ学園小学校の副校長先生として招聘し、国語科をも充実させ、建学の理念「人間是宝」をいっそう具現化すべく、若手・中堅・ベテラン教師陣が一丸となり日々情熱ある指導を展開しているからです。

- 佐藤理事長先生曰く「ソフトもハードも日本一の小学校とする。」

傾向と対策

総合判断の入試制度

さとえ学園小学校は2日間にわたり「じっくりと生徒をみる。」入試選抜制度をとっています。ですからペーパーだけで良い得点をとっても合格できるわけではありません。あくまでも全科目の合計点での総合判断です。そして、それは入学試験日前の「親子面接」からスタートしています。

(1) 行動観察

傾向 - 「行動観察」の試験時間中だけの評価ではありません。いわば「校門をくぐってから、校門を出るまでのすべての行動」が評価対象です。この意味でペーパー試験より比重が高いと思います。たとえば、はじめの1時間は我慢してられるけど、その後はしたい放題というお子様は到底合格できません。というよりも、もともと私立小学校受験には向いていないのです。

対策 - 日頃から『公』と場と『プライベート』の場では行動も発言もすべて変えるべきである。」ということの日頃の生活で教えるべきです。これは「いい子のふり」や「嘘をつくこと」を教えるのではなく、「人はTPOに応じて行動を意識して変えるのが正しい。」というしつけをするのです。そうすれば、この場はどう行動するべきかを自分で考え、自分で「あるべき行動」が出来るようになります。(自律)

そうなれば、初めて会ったお友達とも仲良く遊べ、先生の指示(お約束)を理解してその通りに行動できるようになります。そして、いつでもあるべき「公」の行動がとれるようになるのです。私たちウェルストリームではこの意味でお子様の精神年齢上げ、知的に成長させています。

(2) 個別テスト

傾向 - 条件絵画、ちぎり絵、蝶結び等が過去に出題されています。「創造性」そして「色彩感覚」、「作業の丁寧さ・緻密さ・手際の良さ」等が評価されます。出題・採点するのはさとえ学園の誇る美術専科教師です。

対策 - ほとんどのお子様はやったことのないことは手際よくはできません。ですから日頃からちぎり絵やお絵かきを多数やることから始めます。まずは慣れることです。それから美術・工芸指導です。私たちウェルストリームでは毎週の造形指導では制作作品を通じて「描く」「塗る」「切る」「貼る」の練習を繰り返し、巧緻性を高めると同時に色彩感覚等を美的感覚をも培っています。

(3) ペーパー試験

傾向 - ここ数年問題は非公開ですのであくまで卒業生からの聞き取り調査によりますが、「小学校受験の王道」ともいえる問題です。大きく国語的分野と算数的分野に分けられ、一問一問明確な出題目的(観点)に基づいて作問されています。また、「お話の記

憶」をはじめとしてどの分野もよく練られた問題が出題されています。レベルは基礎的なものから応用まであり、きちんと準備した人としなかった人で差がつく「努力が正当に評価される」問題です。平成 19 年秋から「お話の記憶」に新傾向問題が加わり、単にお話を聞いて記憶するだけの問題にとどまらず、「登場人物の心情読解」までもが問われています。尚、配点の 10 ~ 20 % くらいですが、思考力問題が出題されることがあります。対策 - 「山かけ勉強」ではなく、私立小学校受験のあらゆる分野の準備をすることが結局は「合格の近道」です。「お話の記憶」の心情読解には「もし、自分がその登場人物だったら、そのときどう思うか？」という「立場の置き換え」練習が有効です。また思考力問題に対しては、「基礎的な知識を身につけそれをベースとしてじっくりと考えぬく習慣」を身につけることが大切です。

(4) 観察

平成19年秋から新たに導入された試験科目です。初年度は「しいたけ」のかいてある絵と「しいたけ」の実物を全員に配り、「しいたけ」の実物を観察して、気づいたことを「しいたけ」の絵に描き込んでいくものです。まさに「観察力」が問われています。

(5) 運動テスト

「運動テスト」は礼儀作法に厳しい体育専科教師が実施します。前転、ボール投げ、短距離走等は毎年のように実施しています。平成 19 年秋、新たに「跳び箱からジャンプしながら上から吊ってあるボールをたたく」という種目が出題されました。指示をしっかりと聞き、理解することと待っている間の姿勢その他ももちろん評価対象になります。

まとめ

今後は新しい傾向として、さとえ学園小学校も国立学園小学校のように口頭試問的要素の比重が増していくと思います。

結局、さとえ学園小学校もペーパー試験の知識・技術を磨くだけでは合格は困難です。行動観察・運動・造形(個別テスト)を含めた総合力があるお子様が確実に合格しているのです。

以上についてのお問い合わせは下記までお願い致します。

〒 331-0815

さいたま市北区大成町 4 - 1 2 6 - 1-101

TEL 048 - 651 - 6811

ウエルストリーム 代表 井澤

